



# 豊玉二中だより

令和4年度 第5号  
発行日 7月20日(水)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 神山 信次郎

## 夏休み～主体的に取り組みを～

校長 神山 信次郎

今までの学校生活とは全く違う夏休みが始まります。学校では授業を中心に学習は進みますし、放課後も委員会や部活動で活動し、帰宅後の2～3時間が自分の時間という人も多いでしょう。しかし、これから始まる夏休みは、すべての時間がみなさん一人一人に委ねられます。

夏休みの期間、時間は全員に同じだけあるわけですから、有意義な夏休みなるかどうかは、一人一人の工夫と実践にかかってきます。時間の使い方によっては、様々な夏休みとなることでしょう。趣味、旅行、部活、読書・・・とたっぷり時間がとれる夏休みだからこそ、取り組みたいことが多いはずです。

その中で、中学生として大切なことは学習です。夏休みの間に1学期にできたこと、分かったこと、そして理解できていないこと、不十分だったことを確認して、復習をしましょう。夏休みの宿題以外に、自分の学習を主体的に進められるかどうかは、2学期以降の学習に大きく影響します。難しく考えず、まず1学期の授業を思い出すために、教科書やノート、プリント等に一通り目を通すことから始めてみましょう。基礎的な内容を確実に定着させる一歩となるはずです。

みなさんにとって有意義な夏休みとはどんなものでしょうか。楽しいことを思う存分できた夏休みでしょうか。一つのことに打ち込んで頑張った夏休みでしょうか。緊張から解放されゆっくり休養した夏休みでしょうか。家族との思い出ができた夏休みでしょうか。どの夏休みも貴重な長期休暇がもたらしてくれるものです。しかし、今年の夏休みはたくさんの楽しいことやゆとりの中に少し辛くても頑張った体験や学習を入れてみましょう。これができた時、皆さんの心は充実感に満たされると思います。時間の使い方を一人一人に任された夏休みです。たくさんの時間をどう使うか、みなさんの工夫と挑戦の結果を楽しみにしています。

まずは、健康第一。2学期は一回り成長した姿で、会いましょう。

